

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ティアランド		
○保護者評価実施期間	R6年 4月 1日		R7年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 3人	(回答者数)	3人
○従業者評価実施期間	R6年 4月 1日		R7年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎回、運動トレーニングを取り入れている	・毎週一人一人に応じたトレーニングを考えている	・定期的に体幹トレーニングの先生に来てもらい、トレーニング方法を教わっている
2	・放課後デイサービスで使用しているトレーニング用具を取り入れることで、放課後デイサービスにスムーズに移行できる	・マンツーマンで、児童の好きなことを取り入れながら興味を持って活動に取り組めるようにしている	・好きな取り組みから興味の範囲を広げ、様々なことに挑戦できるようにしている
3	・保護者との意見交換の時間を多く設けている	・保護者に家庭での様子を伺うことで、療育にとりいれている	・保護者とのコミュニケーションを大切にすることで、信頼関係を築いている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・児童発達支援専用の用具よりも放課後デイサービスで使用する用具の方が多くある	・現在、放課後デイサービスの利用の方が多い為	・新旧に向けて、放課後デイサービスの用具を取り入れつつ、一人一人に合った使い方をしていく
2	・小学生用のいすを使用している	・児童発達支援と放課後デイサービスの環境が同じであるため	・サイズ変更をできる椅子を使用しているが、体の小さなお子様には、足元に台を置いたり、背中にクッションを置いたりしている
3	・集団行動の練習が難しい	・個別で療育を行う為	・保護者に家庭や保育園での困りごとをうかがい、集団行動につなげられるよう意識している